

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 必ず入力してください （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1)すべての人に愛情をもって接します。 2)子どもの最善の利益の追求し、保護者の子育てとしごとの両立支援を貫きます。 3)すべてのものを敬い、謙虚さと感謝を忘れません。 4)常に向上心・探求心を持ち学ぶ姿勢を持ち、学ぶことを考えることを怠りません。 5)人には誠を尽くします。そこから信頼が生まれます。ご縁のあるすべての人に誠に尽くします。
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割 必ず入力してください
	1. 職場内の人間関係において協調性、協力的態度を持つ。 2. 保育士としての使命感、責任感を持つ。 3. 心身共に健康であるということ。 4. 愛と思いやりを持つ。 5. 乳幼児を理解し、保育技術を高める。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） 必ず入力してください
	「サービスの基本5S」も忘れずに。①スマイル、いつも明るい笑顔で対応。②スピーディ、テキパキと機敏な行動。③スマート、清潔な身だしなみ、スマートなサービス。整理整頓はできているか。④シンセリティー、心のこもった誠意ある対応。誠意、熱意、好意を持つ。⑤スタディ、豊かな知識。自分から積極的に学ぼうとする意欲を持つ。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	保護者全16世帯		
調査方法	園児の保護者にアンケートを保育園よりアンケートを配布いただき、保育園へ提出または直接評価機関へ返信いただきました。		
	利用者総数	16	
	利用者家族総数（世帯）	16	
	共通評価項目による調査対象者数	16	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	13	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	81.2	

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な満足度は、全回答者13名のうち「大変満足」と回答した方が7名、「満足」と回答した方が6名でした。回答者全員が、「大変満足」または「満足」と回答しており、満足度は非常に高いです。園に対する意見では、こういった満足度の高さを反映して「小規模の保育は初めてで、細かくフォローもしてもらい助かっています。体調の変化が起こることが多いので、遊びもいろいろと工夫してくれていて良かったです」「状況に応じて対応してくれているのが助かります。大好きなキャラクターがあり、機嫌に合わせた声掛けやおもちゃを出してくれ、信頼してあずけることができます」「小さなことでも目を配り、密にお話してくださるので安心して子どもをあずけることができ、感謝しております」「毎日園での様子を詳しくお伝えくださり、発達や成長したこともすぐ教えてください。親としては安心、信頼して先生方に子どもをあずけることができ感謝するばかりです」といった好意的なコメントがほとんどでした。

利用者調査結果

コメント欄を必ず入力してください

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	12	1	0	0
全回答者13名のうち、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っている」と回答した方が12名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	12	1	0	0
全回答者13名のうち、「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっている」と回答した方が12名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	13	0	0	0
回答者全員が、「提供される食事は、子どもの状況に配慮されている」と回答しています。ただし、「量が少し少ないかなと感じるときがある」といった意見がありました。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	13	0	0	0
回答者全員が「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっている」と回答しています。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	9	1	0	3
全回答者13名のうち、「保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されている」と回答した方が9名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が3名でした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	11	1	1	0
全回答者13名のうち、「安全対策が十分とられている」と回答した方が11名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「いいえ」と回答した方が1名でした。「送迎時とはいえ、玄関の鍵が開いたままなのが気になります」といった意見がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	7	5	1	0
全回答者13名のうち、「行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分」と回答した方が7名、「どちらともいえない」と回答した方が5名、「いいえ」と回答した方が1名でした。「行事が午前の場合、できれば午後に通常通り子どもを見てほしいと思いました」「年間予定で年度初めに出された日程から変更があったときの報告を早くしてほしいと思うことがあった」といった意見がありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	11	2	0	0
全回答者13名のうち、「子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係がある」と回答した方が11名、「どちらともいえない」と回答した方が2名でした。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	12	1	0	0
全回答者13名のうち、「施設内の清掃、整理整頓は行き届いている」と回答した方が12名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	11	2	0	0
全回答者13名のうち、「職員の接遇・態度は適切」と回答した方が11名、「どちらともいえない」と回答した方が2名でした。				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	12	1	0	0
全回答者13名のうち、「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できる」と回答した方が12名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	11	1	0	1
全回答者13名のうち、「子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できる」と回答した方が11名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が1名でした。				

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	13	0	0	0
回答者全員が「子どもの気持ちを尊重した対応がされている」と回答しています。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	13	0	0	0
回答者全員が「子どもと保護者のプライバシーは守られているか」と回答しています。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	13	0	0	0
回答者全員が「保育内容に関する職員の説明はわかりやすい」と回答しています。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	8	1	1	3
全回答者13名のうち、「不満や要望は対応されている」と回答した方が8名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「いいえ」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が3名でした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	5	1	1	6
全回答者13名のうち、「外部の苦情窓口にも相談できることを伝えられている」と回答した方が5名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「いいえ」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が6名でした。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5、7）

No	共通評価項目		
1	カテゴリー1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー1（1-1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
	評価項目1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している 評点（ ○○ ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、 事務所をリードしている 評点（ ○○ ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて 意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点（ ○○○ ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリー1の講評		カテゴリー1の講評を入力してください
	①職員と保護者に対し、園や法人の目指していることを継続的に伝えています 園が目指している法人理念、法人の職員として守るべきクレド（行動規範）は、「SAKURA保育園運営マニュアル」に明記し入職時には熟読することとし、職員の理解に努めています。本年度は勉強会で一人ずつ唱和し確認した結果、その後子どもへの対応に効果として表れました。保護者に対しては、子どもと一緒に見学をする際や利用決定後の契約の際にも、重要事項説明書を用いて説明を行い、署名捺印による承諾を確認しているほか、園の目指している保育（徳育、体育、知育）については、図示したものを掲示して保護者に継続的に伝えています。 ②地方の法人本部と東京支部、園の関係や園長の職務を運営マニュアルに示しています 経営主体である法人と園の位置付けは、運営マニュアルに組織図として図示しています。九州に所在する法人本部は議決機関である評議委員会、執行機関である理事会、監査機関である監事の体制からなっています。当園の所在する東京都には東京支部があり、事業拠点を統括して経営を担っています。また、管理職である園長の職務分担として、理事会の議決に基づく事業執行及び、理事会への事業実績報告、施設運営・管理の統括などと、その役割と責任を示していま		

	す。 ③法人と園の意思決定手順を定め、結果を職員、保護者に伝えるしくみがあります 法人の決議を行う際の決定手順は定款に定め、ホームページで公開し、法人内外に伝えています。当園内での議題の検討と決定については、園長をはじめとした職員が月に1回実施している職員会議で話し合い、決定事項を職員会議ノートに記録しています。園の予算を超える案件については、東京支部や本部の理事、理事長の承認を得て決定しています。これまでに、現場の要請から室内の空気循環を改善する扇風機を導入し、子どもたちの過ごす環境を改善しています。保護者には関わりのある変更事項などを連絡システムやお便りで伝えています。																						
2	カテゴリー 2																						
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行																						
	サブカテゴリー 1 (2-1)																						
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況																					
	評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点 (○○○○○○)																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>5. 事業所の経営状況を把握・検討している</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>○非該当</td></tr> <tr> <td>○非該当</td></tr> <tr> <td>○非該当</td></tr> <tr> <td>○非該当</td></tr> <tr> <td>○非該当</td></tr> <tr> <td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>		○非該当	○非該当	○非該当	○非該当	○非該当	○非該当
評価	標準項目																						
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している																						
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している																						
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している																						
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している																						
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している																						
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している																						
○非該当																							
○非該当																							
○非該当																							
○非該当																							
○非該当																							
○非該当																							
	サブカテゴリー 2 (2-2)																						
	実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況																					
	評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点 (○○○)																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目	●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>○非該当</td></tr> <tr> <td>○非該当</td></tr> <tr> <td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>		○非該当	○非該当	○非該当									
評価	標準項目																						
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している																						
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している																						
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている																						
○非該当																							
○非該当																							
○非該当																							
	評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点 (○○)																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>○非該当</td></tr> <tr> <td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>		○非該当	○非該当												
評価	標準項目																						
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している																						
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる																						
○非該当																							
○非該当																							
	カテゴリー 2 の講評 カテゴリー 2 の講評を入力してください																						

①利用者、職員の意向と地域情報の収集により抽出した課題解決に取り組んでいます
利用者意向の収集については、区で用意しているアンケートの実施や法人のホームページの中の「お問合せボタン」などの方法により行い、結果を年に1回実施している法人の全体会議で共有しています。また、職員意向については組織の情報を共有し、挙げられる要望の改善に取り組んでいます。地域の情報収集について区のガイドラインやお知らせ、小規模連絡会参加などにより行い、地域内で保育園が増えることに伴い、利用定員と職員の確保を課題として挙げています。園では、効果的な求人方法や設備の充実化などにより、課題に取り組んでいます。

②長期的ビジョンに基づく事業計画と保育の内容に関する全体的な計画が立てられています
法人の長期的なビジョンに基づき、全体としての単年度の事業計画と各事業の計画が立案され、ホームページの「経営情報公開」の中で公表し、職員に配布しています。当園の事業計画は、前年度の反省をふまえて翌年度の取り組みを職員会議で検討し、園長が作成しています。この他、単年度ごとに「保育の内容に関する全体的な計画」が立案され、法人の保育理念の実現に向けて、園の保育目標、年齢ごとの保育目標、養護・教育内容を定めています。

③計画の定期的な進捗管理により、今年度予定した新たな取り組みも達成しています
計画に描かれている取り組みは質的な目標が多く、達成度合いを測る指標として数値目標に比べて明確な評価の視点が求められるものと考えられます。定員に対する利用率は毎月受け入れ状況を把握し、予算管理に活用しています。また、園長が定期的に法人に対して現状と課題を報告して修正しているほか、毎年作成する事業報告書で実績の確認をしています。今年度計画に位置付けた脳科学に基づく保育のメソッドの導入の取り組みについては、対応できる職員の養成を終了し、現在進行していますが、保護者からは好評を得ています。

3

カテゴリー 3

経営における社会的責任

サブカテゴリー 1 (3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評点 (○○)

評価

標準項目

●あり ○なし

1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる

○非該当

●あり ○なし

2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。

○非該当

サブカテゴリー 2 (3-2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評点 (○○)

評価

標準項目

●あり ○なし

1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている

○非該当

●あり ○なし

2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある

○非該当

評価項目 2

虐待に対し組織的な防振対策と対応している

評点 (○○)

評価

標準項目

●あり ○なし

1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している

○非該当

●あり ○なし

2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織

○非該当

	として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		
サブカテゴリー 3 (3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点 (〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当	
評価項目 2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点 (〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当	
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当	
カテゴリー 3 の講評		カテゴリー 3 の講評を入力してください	
①遵守事項を予め明示し、会議やシステムによる継続的な意識啓発に取り組んでいます 職員が守るべき事項は、就業規則や「SAKURA保育園運営マニュアル」に明示し、入職時に説明と熟読を義務付けて周知を図っています。就業後についても、定期的な見直しを求めるとともに、会議の機会に内容の確認をすることで遵守に努めています。子どもの尊厳に配慮して対応を見直した事例として、乳児のオムツ交換の際の目隠しや職員の言葉のかけ方がありました。園で運用しているシステムには「管理日誌」という機能があり、職員は必ず目を通すことから、指導内容を記載し継続的な意識啓発に取り組んでいます。 ②理解のしやすさに配慮した重要事項説明書により、苦情等の窓口を明示しています 保育園の利用後、保護者が苦情や要望を伝えられる窓口について、契約時に重要事項説明書を用いて説明し、同意を得ています。法人として統一した様式としている重要事項説明書は、図や表、挿絵を添えた園のしおりを兼ねており、利用者の理解のしやすさに配慮しています。相談・意見・要望・苦情についての説明として、苦情受付担当者と連絡先電話番号、Eメールアドレス、苦情処理責任者名を明記しています。さらに、第三者委員と法人本部の窓口、区、社協の窓口と連絡先を併記しています。 ③地域とのふれあいや積極的な活動内容の開示が、口コミという形で成果に表れてきました 当園は開設から4年が経過し、短時間保育の対応やホームページやブログによる活動内容の開示により、口コミでの評判を聞かれるまでになりました。日常的な園外活動の中で地域住民と挨拶を交わしたり、ハロウィンイベントでは仮装をして近隣を歩いて地域とのふれあいの機会をもちました。地域の福祉活動への関わりについては、近隣の幼稚園との協力連携や小規模連絡会への園長の定期的な参加と全体研修への職員が参加をし、情報交流をしています。			
4	カテゴリー 4		
リスクマネジメント			
サブカテゴリー 1 (4-1)			
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (〇〇●●〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		○非該当

●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
○あり ●なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー 2（4-2）		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点（○○○○）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		カテゴリー4の講評を入力してください
①最も優先されるリスクは事故であるとして、事故防止の意識を高めています 「SAKURA保育園運営マニュアル」ファイルには、安全管理に関する検討結果として抽出されたリスクの一覧がファイリングされています。その中で最も優先的に取り組むこととして事故が挙げられており、保育園の内外で常に発生する可能性について話し合いがなされ、職員が共有する管理日誌への書き込みにより事故防止の意識を高めています。事故発生時には、所定の手続きに沿って区に報告をし、指導を受けて改善と再発防止策を講じています。今後とも定期的なリスクの検討を職員全体で実施し、リスクマネジメントの更なる向上が望まれます。 ②子どもの安全な保育環境の確保のためにも、事業継続計画（BCP）の検討が望まれます 当園では、非常災害対策計画を立案し、火事や侵入などの想定をした実践的な訓練を実施し、結果の反省・評価を行っています。また、災害マニュアルには自然災害に被災した際の、避難行動から保護者への引き渡しまでが盛り込まれ、保護者に対する重要事項説明書の中で、災害時の連絡手段をメールで行うと伝えています。一方、被災した保育園がどのように保育の提供を再開していくかについては扱われていません。今後、子どもの保育環境の確保のためにも、事業継続計画（BCP）の検討が望まれます。 ③個人情報取り扱い方針を明確にし、電子記録と機密書類の適正な管理に努めています 子どもや保護者から収集する個人情報の取り扱い目的や利用目的については、契約書や重要事項説明書により契約時に説明と同意を得ています。園ではほとんどの情報を「園児管理システム」というパソコンとインターネットを用いたシステムに入力して扱っているため、職員がパソコンで作業をする際には、パスワードにより部外者の閲覧を防止しています。また、機密書類は施錠のできる書庫に保存し、情報漏洩と持ち出しを禁止しています。この他、個人のスマートフォンによる写真撮影や業務に関するやり取りについても、適切な使用に努めています。		
5	カテゴリー 5	
職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー 1（5-1）		
事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点（○○）		
評価	標準項目	

●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (○●●○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金、昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー 2 (5 - 2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
評価項目 1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点 (○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 5 の講評 カテゴリー 5 の講評を入力してください		
①応募資格を「笑顔」とし、法人理念の実現に資する人材確保に取り組んでいます 当園の人材確保施策は、法人としての求人・採用活動として行われています。ハローワークや保育士養成校、人材派遣サービス、採用フェスタ（合同求職の催し）などでの求人広報に加えて、ホームページやSNSを活用しています。法人ホームページの求人情報ページでは、動画により処遇や福利厚生の特徴を前面に出すとともに、「笑顔」を応募資格として伝え、法人理念の実現に資する人材確保に取り組んでいます。		
②職員一人ひとりの強みを生かす人材育成施策の検討が期待されます 職員の処遇改善に取り組む園では処遇改善加算の取得をしており、職員への口頭や文書などによる周知をしています。		

	職員は、処遇改善加算Ⅱに準じた職名を担い、必須研修であるキャリアアップ研修を順次受講しています。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、職員会議などの場で、他の職員と内容を共有して職場全体の学びに生かしています。このように制度に基づいた取り組みがある一方、職員自身が上司との話し合いの中で作成する、個別の育成計画は作られていないようです。今後、職員一人ひとりの強みを生かす人材育成施策の検討が期待されます。 ③「TOKYO働きやすい福祉の職場宣言事業所」の取り組みが効果の連鎖を生んでいます 法人では、職員の働きやすさに取り組んでおり、「TOKYO働きやすい福祉の職場宣言事業所」として認定されました。結果として、現場ではすべての世代に働きやすい環境になってきていると感じられています。ワークライフバランスの推進では、有給休暇の取得率が向上し、職員の意欲にも良い影響を与えているようです。職員体制が充実したことは業務負担の軽減のみならず、研修への参加機会の確保にもつながり、個々の職員の成長は問題解決の場での視点の拡大にもつながり、結果として組織力の向上につながっています。						
7	カテゴリー 7 事業所の重要課題に対する組織的な活動 サブカテゴリー 1 (7-1) 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている 評価項目 1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1） 前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ） 当園では、これまでを振り返り重要課題として「法人・事業所の理念」「新保育所保育指針」に沿った保育の見直しにより、職員の保育の質の向上を目標に今年度事業計画として取り組みを進めています。園内研修では、理念を一人ひとり発言し、理解度を確認し実践に向けた共通認識づくりに努めました。また、職員が協力し合いキャリアアップ研修、区の研修などの参加率を高めて、基礎研修を受講し挨拶の仕方や人との接し方の基本を見直すこともできました。これらの実践結果は職員と子どもとのかわりの中で、丁寧さやさしさ、言葉遣いに変化として表れていることが確認されています。今後は、受講した研修内容をより効果的に園内で展開することを課題としています。 <table> <tr> <td>目標の設定と取り組み</td><td> ●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった </td></tr> <tr> <td>取り組みの検証</td><td> ●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である </td></tr> <tr> <td>検証結果の反映</td><td> ●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である </td></tr> </table> 評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 この取り組みの背景として、開設8年目となる保育園ですが3年前に運営法人が変更しており、主要な職員により園の運営を守りぬいてきた経緯があります。また、この間には保育の依拠するものである保育所保育指針が変更になっています。新たな保育所保育指針では、当園の対象である0歳児から2歳児まで保育の重要性が盛り込まれ、より高い水準に引き上げることが求められています。したがって、園では開設以来培ってきた保育のノウハウを基礎としながらも、新たな運営法人の理念を受け入れ、社会からの新たな要請にも応えることが求められる時期であったと考えられます。このことから、上記目標を事業計画に位置付け、取り組みに対する一定の成果が認められたことは、今後の発展にもつながるものと考えられます。 評価項目 2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2） 前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ） 2018年度から、職員の業務省力化、園内及び法人内の情報共有化、業務標準の確立を主要な目的として、あらゆる業務のICT化に取り組みました。目的であった職員の業務省力化に対しては、記録入力時間の捻出の課題はあるものの、従来と比べて業務の持ち帰りと残業がなくなり、この点は求職者へのアピールポイントになっています。園内及び法人内の情報共有化については、園職員は1日に幾度も更新される「園児管理システム」を情報源として活用し、園長と職員のメッセージのやり取りにも活用しています。さらに他の保育園の管理者とも情報を共有して、業務の担保をしています。業務標準の確立についても、すべての計画と進捗管理をシステム内で行うことにより達成しています。初年度	目標の設定と取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった	取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
目標の設定と取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった						
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である						
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である						

の進捗確認としては、ICTへの切り替えができたことを評価していますが、今後の課題として入力ミスや内容について精度を高めることと
しています。

目標の設定と
取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む）
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

当園が2016年4月に運営法人が変更になり2年間は、従来の紙ベースの運営からICT化への転換について学び、準備期間としてきました。2018年度は
職員の総力をあげてパソコンによる記録に取り組み、習得するまでに至りました。これらの取り組みを支えたのは、東京の拠点を統括する東京支部や
法人内の他の保育園同士の協力体制でした。事業を取り巻く環境としても、厳しい雇用の確保や高まり続ける社会の保育事業への要請があり、ここで
園が転換を図ることができたことは重要な成果であると考えられます。

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー 6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー 1		
	サービス情報の提供		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点（○○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー 1 の講評		サブカテゴリー 1 の講評を入力してください
	①ホームページ内のブログを毎月1回更新し、園の雰囲気伝えていきます 保育園の利用を希望している方々に向けて園の情報を広く提供できる窓口として、ホームページを開設しています。ホームページには、入園時に必要な書類や定員、職員数、年間行事や園の1日の様子等の基本事項の他に、毎月の園だよりや行事の様子などを紹介しています。行事の紹介はブログ形式で、大きな写真を使い園の雰囲気がわかりやすいように考慮し作成されています。最新の情報を提供できるように、毎月の更新を目指しています。区のホームページ内の小規模施設一覧のサイトからもリンクして、園のホームページが見られるようにしています。 ②見学は随時受け入れ、個別に丁寧な説明をしています 園の見学は随時受け付け、園長が説明を担当しています。見学の日程については、行事がない日であれば利用者のご希望に合わせて設定し、土曜日でも可能としています。見学者一人ひとりの状況に合せて、質問も受けながら丁寧な説明が行えるように、1回の見学には1組だけの受け入れとしています。時間がある場合には、保育園を利用する際の重要事項等の説明もしています。見学の申し込みは電話の他、ホームページのお問い合わせフォームからメールでも行えるようにし、利用者の利便性を図っています。 ③近隣の子育て支援施設等へのパンフレットの配布など、更なる広報活動も求められます 保育園の情報は、コンシェルジュや区が提供している様々な公的媒体などに紹介文が掲載されています。また、園独自で園の概要や想い、年間行事予定、保育の流れ等を掲載したカラーのパンフレットを作成し、見学者等に配布しています。保育園を広く地域に周知し、必要としている方々により情報が届きやすくするために、今後は近隣の子育て支援施設や園医等関係機関へ、パンフレットを配布していくことも望まれます。		
2	サブカテゴリー 2		
	サービスの開始・終了時の対応		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点（○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
	評価項目 2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点（○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当

	●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
		サブカテゴリー 2 の講評	サブカテゴリー 2 の講評を入力してください
①入園前の個別面談で重要事項を説明し、各種承諾書を得ています 入園が確定した方々に対しては、個別面談を実施しています。面談では一人ひとりの家庭の状況を確認し、保護者が不安なことや求めていることなどについて十分に話を聞き、丁寧に質問に答えながら説明しています。契約書と合わせて、写真の取り扱いに関する誓約書やホームページ、ブログ等への写真の使用に関する承諾書の提出をいただいています。他にも、写真の販売やブログの閲覧、連絡帳アプリ等に関する説明も行い、個人情報等に関する承諾書を得ています。 ②面談等で確認した家庭からの要望等は、園児管理システムに入力しています 本園では業務のICT化を進めていることから、子どもたちの家庭の世帯情報や児童票、健康の記録等はすべて、「園児管理システム」内の「園児台帳」や「ケア記録」に入力し保存しています。面談で聞き取った内容についてもシステム内に記録し、全職員で共有しています。家庭生活との連続性を大切にして、例えば、お気に入りのぬいぐるみの持ち込みなど、保護者の要望にはできるだけ応じています。慣れ保育も、保護者の仕事の状況を見ながら、1日1、2時間から始めて、1週間から2週間をかけ、丁寧に行っています。 ③卒園する子どもたちには、園での様子をフォトDVDにまとめてプレゼントしています 小規模保育園のため、2歳児クラスの子どもたちが全員卒園を迎えます。卒園する子どもたちには、園での様子を写真に撮りためたものを、一人ひとり「フォトDVD」にまとめて、制作物等と一緒にプレゼントしています。卒園のお祝い会では、このDVDを全員で鑑賞しながら成長を喜び合っています。また、卒園を待たずに転園する子どもたちにも、園での写真や制作物、職員が寄せ書きをした色紙等をプレゼントしています。退職、転職をする保護者に対しては、求職中でも3か月間はお預かりできることを伝え、いつでも相談に乗れる体制を整えています。			
3	サブカテゴリー 3		
個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点（ ○○○ ）			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点（○○○○○）			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当	
評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点（ ○○ ）			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかにつ	○非該当	

	いて具体的に記録している		
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点 (〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリー3の講評		サブカテゴリー3の講評を入力してください	
①毎月1回システム内の「発達チェックリスト」で確認し、月の計画作成に活かしています 子どもたち一人ひとりの成長、発達の様子は、「園児管理システム」の中の「ケア記録」にある「発達チェックリスト」を活用し、毎月月末に確認し記録しています。また、システム内で月の指導計画を作成する際には、まず各クラスの子どもの「先月までの姿」と「今月予想される姿」を入力し、月の目標を設定していくなど、子どもたちの育ちの様子を考慮しています。指導計画は、園の全体的な計画に基づき、月案、週案、日案が全てシステム内で作成できるようになっています。今後は毎月の保育目標等について、保護者にも伝えていくことが望まれます。「発達チェックリスト」で確認し、月の計画作成に活かしています ②0歳から2歳のすべての子どもたちに対して、個別支援計画書を作成しています 全園児に関する記録は、すべてシステム内に個人別に作成されて、保管しています。0歳児から2歳児全員に対して、個別支援計画も作成しています。個別の計画は毎月の発達チェックに合わせて定期的に見直しを行っていますが、特にケアが必要な出来事があった場合には、その都度「ケア記録」に入力し、計画の見直しも行っています。子どもたち一人ひとりに対して、「今月初めの子どもの姿」や「個別のねらい」、「配慮」、「反省」を毎月入力し、子どもたちの現状と課題を把握しています。 ③全職員が「園児管理システム」を各自確認し、子どもたちの様子を共有しています 園で導入している「園児管理システム」内には、日常の保育日誌の他に、「管理日誌」という項目があり、事務連絡や送迎時に保護者から伝えられたこと、連絡帳アプリで確認した特記事項等が記載されています。職員は出勤するとすぐにパソコンを使い、必ずシステム内の情報を確認するところから業務を開始し、全職員で共有しています。また、毎月1回開催している全体職員会議や毎週1回のリーダー会議等で、子どもたち一人ひとりの様子等について話し合い、他のクラスの様子なども共有しています。			
5	サブカテゴリー5		
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点 (〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点 (〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリー5の講評		サブカテゴリー5の講評を入力してください	
①区の指導に基づいて、子ども同士のプライバシーにも配慮した取り組みをしています プール等での着替えの際には、みんなの前で裸にならないよう配慮し、1枚脱いだら1枚着る等の着替えの順番を教えたり、「恥ずかしいから、はこうね」等の言葉がけで、子どもたちに羞恥心を育てる取り組みをしています。また、お			

	むつ替えの際は手作りのつい立て、他から見えないようにし、トイレに行く子どもたちについても、時間を決めて一斉にするのではなく、個別の対応をしています。おむつ替えについては以前から配慮をしていましたが、乳児同士であっても見えない場所で行うという区の指導に基づき、更なる環境の改善を行いました。 ②園内研修で法人の理念を学ぶことで、職員の子どもへの人権意識を高めています 法人の運営マニュアルには、第1章に人権についての項目が書かれています。子どもの最善の利益や人権に配慮した保育、子どもの人権を守るための言葉の使い方等も明記され、職員の行動の基本となっています。今年度は、園内研修で改めて法人の理念を読み合い、職員の人権意識を高めています。虐待予防や育児困難家庭への支援等に関しては、外部研修に参加した職員から会議等で報告を受けて、学びを共有しています。保護者の価値観等についてはできる限り配慮し、急な要望にも応じる体制を整えています。 ③行事の際の写真の使用等について、保護者への意識啓発も行っています 子どもたちのブログ等への写真の使用については、入園当初の契約時にも同意書をいただいておりますが、園のパンフレットや求人情報などの作成に使用が必要になった場合は、改めて同意を得ています。また、お誕生日会等の行事の際は、保護者に対して園内での写真の撮影は許可していますが、SNS等へは使用しないよう伝え、個人情報の保護についてご理解、ご協力をお願いしています。職員は、園外では行事や子どもたちの話はしないよう心掛けるなど、プライバシー保護の視点を大切にしています。		
6	サブカテゴリー6		
事業所業務の標準化		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目1			
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている			評点 (〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当
評価項目2			
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている			評点 (〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		○非該当
サブカテゴリー6の講評		サブカテゴリー6の講評を入力してください	
①区が作成している「教育・保育の質のガイドライン」を全職員に配布しています 本園では、区が作成した「教育・保育の質のガイドライン」と法人が作成している「保育運営マニュアル」を業務の基本としています。「保育の質のガイドライン」は全職員に配布しいつでも読めるようにし、「保育運営マニュアル」は抜粋したものを会議等で定期的に学習しています。また、アレルギーマニュアルや衛生管理マニュアル等は、法人が作成したものを園に合うように作り直し、必要に応じて使用できるよう保管しています。AED使用の手順や救急要請など、緊急に対応が必要なものについては壁に掛けて、いつでも手の届くところに置いています。 ②園内研修等の充実を図り、職員の質の向上に取り組んでいます 子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を共に過ごす保育士は、常に研修などを通して自ら人間性と専門性の向上に努める必要があるとの保育所保育指針の考え方を踏まえて、年間研修計画を作成しています。個人別の外部研修への参加予定や毎月の園内研修のテーマ等の一覧も作成し計画的に取り組みを進めています。外部研修に参加した職員は、報告書を作成し、園内研修や会議等で全職員が学習内容を共有しています。「脳科学に基づく育児法カリキュラム」の研修にも参加し、認定園として登録を受けています。 ③職員一人ひとりの状況に応じて、シフトの調整等働きやすい環境作りに取り組んでいます			

都の「働きやすい福祉の職場宣言事業所」として認定を受けたり、区の「ワーク・ライフ・バランス推進企業」の認定を受けるなど、働きやすい職場環境の整備に力を入れています。全職員が協力し合って、有給休暇の取得率100%を目指しシフトの調整などの取り組みをしています。業務のICT化に伴い持ち帰りの書類仕事等はできなくなり、残業などもなくしていくように取り組んでいます。職員が楽しく仕事ができる環境が、子どもたちを第一に考える質の高い保育にもつながることから、今後も働きやすい環境作りを推進していく方針です。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー 6-4）

サブカテゴリー 4			
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている		評点（〇〇〇〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
評価項目 1 の講評		評価項目 1 の講評を入力してください	
①0歳児の部屋と1、2歳児の部屋を分けて、発達に応じた保育を行っています 現在、0歳児6名、1歳児6名、2歳児7名の定員を設けています。室内は3つの空間に分けられて、主に食事をする部屋と遊びや午睡の部屋、0歳児専用の部屋を用意しています。0歳児室にはクッションマットが敷かれたスペースもあり、腹ばいになりゆったりと遊べるようにしています。歩けるようになった1歳児と2歳児は合同で遊ぶことも多く、散歩等にも一緒に出かけています。自由遊びの時間には、ままごとや絵本、ブロック、電車等、おもちゃをコーナーに分けて、主体的な遊びを展開できるようにしています。 ②クラス担任制を設けて、個別と集団の両面からの発達を把握しています 0歳児から2歳児、それぞれのクラスに、担任を設けています。担当を明確にすることで相互の関わりを深めて、愛着形成を図っています。発達の個人差が大きい0歳児は、個別の指導計画に基づく援助が主になりますが、1歳児と2歳児クラスでは、個別の計画に加えて集団としての育ちも大切にしています。各クラスの担当が子どもたち一人ひとりの発達を毎月確認して月の指導計画を作成し、振り返りも行っています。また、子ども同士のおもちゃの取り合い等のトラブルについては、叱るのではなく根気よくコミュニケーションの取り方を伝えています。 ③特別に配慮が必要な子どもについては、専門機関との連携を図り援助しています 特別に配慮が必要な子どもについては、例えば歩けない場合は0歳児室で過ごすなど、年齢ではなく発達に応じた関わり方をしています。コミュニケーションがうまく取れない場合などは、他の子どもたちの中にスムーズに入って行かれるように、関わり方に気を配っています。半年に1回程度、関係機関からの巡回指導も受け、困ったことがあった場合には、いつでも相談できるように連携をしています。外国籍の子どもたちについては、特に意識をせずに個性の1つと受け止め、宗教等の理由で食べられない食材についても、使用しない等の対応をしています。			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点（〇〇〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目 2 の講評		評価項目 2 の講評を入力してください	

①連絡帳アプリを活用し、家庭と園とで双方向の情報共有をしています
園の連絡帳は、スマートフォンやパソコンから入力できるアプリを導入しています。保護者が家庭で入力した子どもの体温や体調、睡眠、食事、お迎え時間やコメントなどは登園前には園のパソコンで確認できるため、気になることがあれば受け入れの際に声をかけています。園で入力した体調や日中の様子などは、お迎えの1時間前に保護者が確認することが可能になっています。連絡帳アプリに書かれた内容は、全職員が朝9時までには目を通して共有しています。過去の内容は管理システム内の保育日誌の個人の詳細記録で確認することができます。

②室内のロールカーテン等を上手に使い、子どもが落ち着ける環境設定をしています
家庭生活からの連続性に配慮し、家での様子を聞き取り日常の保育に活かしています。どうしても必要な場合には、家から持参したおもちゃで遊ぶなどの配慮もしています。食事や排せつ等の生活習慣については、個別の発達の状況に応じて身に付けていくことの大切さを保護者にも伝え、ねらいをたてて援助しています。1歳児と2歳児の午睡の際にはロールカーテンを使い明るさを調整し、落ち着いて寝られるようにしています。早く目が覚めた子どもたちは、起きた順に別室で自由に遊べるように配慮しています。

③お迎えの際にはクラス担当が玄関で保護者を迎えて、その日の様子を伝えています
0歳児は部屋でのお迎えになり、保護者はクラス担当の職員から園での様子などについて直接話を聞くことができます。1歳児、2歳児は入り口での送迎になりますが、必ずクラス担当の職員が入口に出て、1日の出来事などを一人ひとり全員に伝えています。連絡帳などに記載されている内容も、保護者と直接会話をして共有することを大切にしています。また、保護者が個別に話をしたいときには、時間を取り丁寧に対応しています。

3

評価項目 3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点 (〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目 3 の講評

評価項目 3 の講評を入力してください

①コーナー設定や遊びの連続性など、子どもたちの主体性を育てる関わり方をしています
遊具は、ままごと、絵本、ブロック、パズルなどのコーナーに分けて置き、子どもたちが自分で遊びたいものを取り出しやすくしています。朝や夕方は自由遊びの時間を設けて、子どもたち一人ひとりが好きな遊びを十分に楽しめるようにしています。遊びの連続性に配慮し、例えばブロックなど作りかけのものをそのまま保存し、午睡の後に続きができるようにしています。絵本や紙芝居を読むときや手遊びなど、子どもたちに何をやりたいかを聞き、リクエストに応じながら自然に集団遊びが楽しめるようにしています。

②「脳科学に基づく育児法カリキュラム」を取り入れて、発達を促す保育をしています
施設内の職員3名以上が研修を受けることで登録される、「脳科学に基づく育児法」の実践園としての認定を受けています。0歳児クラスからこのカリキュラムを取り入れて、脳の発達を促す体操や音楽遊びなど日常の保育の一部に取り入れています。また、今月の歌やわらべうた、絵本などを通して、子どもたちの言葉の発達を促す取り組みもしています。月齢が小さい子どもたちにも、指をさしたものに職員が言葉を添えることで、発語を引き出す関わり方などを大切にしています。また、時計の数字に動物や花などの絵を貼り、時間の感覚を育てています。

③雨天で外出できない場合には、ダイナミックな室内遊びで保育に変化をつけています
お天気の良い日は必ず外に出かけて、広々とした空間で身体を使った遊びをしています。季節に応じて散歩のコースなども変え、その時期の花や落ち葉などに触れたり夏のプール遊びなど、四季の移り変わりを感じられるようにしています。雨で外に出掛けられない場合には、テーブルなどを活用しジャンプや滑り台をする、粘土や手作りおもちゃで遊ぶなど、室内でも様々な遊びが展開できるようにしています。日常生活の中で、遊具を使う順番を守ること、噛まない、

	押さないなど、やってはいけないことなどをルールとして丁寧に伝えています。		
4	評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点 (〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
	評価項目 4 の講評		評価項目 4 の講評を入力してください
	①職員がやって見せることで、子どもたちの興味を引き出し行事の練習に発展させています 園ではミニ遠足、七夕、敬老の会、運動会、ハロウィン、親子遠足、七五三、クリスマス会、お正月の会、節分、ひな祭りなど毎月1回以上の行事を行っています。運動会や発表会などでは、まず職員が楽しんでやっている様子を見せることで、子どもたちの興味や関心を持てるようにしています。太鼓や鈴、タンバリン、トライアングル、カスタネットなどの楽器を使う際にも、子どもたちができるだけ自分からやりたいものを選ぶような配慮をしています。2か月に1回合同お誕生会も行い、主役の子どもたちはみんなの前に出て、インタビューを受けています。		
	②ブログや連絡帳アプリを通して、子どもたちの頑張る姿を保護者にも伝えています 運動会や親子遠足、発表会等の大きな行事は原則保護者の参加をお願いしていますが、それ以外は、来たい保護者が自由に参加できるようにしています。行事の年間予定表を事前に配布し、保護者が行事にできるだけ参加しやすい配慮をしています。どうしても都合がつかない場合は個別に相談に応じて対応しています。行事の様子は園のブログ等を通して、家庭でも見るようにしています。また、毎月発行している園便りや毎日の連絡帳アプリで、子どもたちが練習などに頑張っており取り組む様子も伝え保護者の関心も高めています。		
	③お正月の会や節分など季節の伝統行事の意味を、絵本などでわかりやすく伝えています 行事に対して子どもたちが自ら進んで関われるように、日頃から行事にちなんだ音楽を掛けたり、日頃の遊びから発展させていくなど意欲を引き出す工夫をしています。季節の行事などについては、絵本や紙芝居などを使い、行事の由来や意味などもわかりやすく伝えています。祖父母や保護者と一緒に行事に参加することで、子どもたちの園での生活に喜びを増やしています。行事を通して子どもたちの成長発達が感じられるようプログラムも工夫していますが、今後さらに新しいものなども取り入れていかれるように検討しています。		
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点 (〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
	評価項目 5 の講評		評価項目 5 の講評を入力してください
	①当日の急な延長保育の依頼も受け入れ、働く保護者を支える配慮をしています 本園では、朝7時30分～8時30分までと、夕方17時30分～18時30分までを延長保育時間と位置付けています。通常、保護者の送迎の時間は、就労時間に通勤にかかる時間を加味して個別に決められていますが、急な残業等の場合は、当日のご連絡でも開園時間内で受け入れをしています。夕方のおやつも、残っている子どもたち全員に用意して、寂しい思いをさせない配慮をしています。日ごろから全職員がクラスを超えて子どもたちとの関わりを深めることで、担任がいない時間帯でも、安心して過ごすことができます。		
	②子どもたちが好きな遊びを準備して、楽しめるようにしています 朝や夕方の時間帯は、主に自由遊びの時間としています。子どもたちは、自分の好きなおもちゃを自由に出して遊べるようにして、楽しく過ごせるようにしています。別の部屋にしまっておもちゃなどでも、子どものリクエストに応じて出して遊べるようにしています。絵本や手遊び、ゲームなど、集団で楽しめる遊びなども用意して、遊びにメリハリをつける工夫もしています。眠くなってしまった子は、0歳児室で横になることもできますし、小さい子が不安になった場合には、抱っこやおんぶなどのスキンシップを十分に図り、安心できるようにしています。		
6	評価項目 6		

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点 (○○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている		○非該当
評価項目 6 の講評		評価項目 6 の講評を入力してください	
①3段階の離乳食を用意し、子どもの発達に応じた食事を提供しています 0歳児クラスでは、初期、中期、後期の3段階の離乳食を用意し、個別の発達に合わせて食べられるようにしています。食事のメニューは栄養士と園長、担任が相談し子どもたちが安全に食べやすいよう配慮し作っています。栄養士がクラスに入り食事の様子を直接見て、次の調理にいかしています。陶器の食器を使うことで、落ち着いて食事ができるようにしています。1歳児、2歳児は合同で食事をしていますが、職員が各テーブルに入り、「美味しいね～」 「1人で食べられたね～」等の声かけをして、会話を楽しみながら食べられるようにしています。 ②行事に合わせたスペシャルメニューなどで、食の楽しさを膨らませています こどもの日には鯉のぼりをかたどったものやハロウィンではお化けの形、クリスマス会バイキング形式やお誕生日会ではケーキが出るなど、行事に合わせたスペシャルメニューも用意して子どもたちを楽しませています。行事に合わせてスイカ割を楽しんだり、公園などでおやつを食べるなど、食を通して更に行事を楽しむ工夫もしています。また、アレルギーをもつ子どもには、主治医からの指示書を基に個別に対応し、ネームプレートをつけたトレーでの配膳など、「食物アレルギー対応マニュアル」に沿った対応をしています。 ③サツマイモなどの食材に直接触れる体験を通して、食への関心を持てるようにしています 食事の味付けは出汁の効いた薄味にして、子どもたちの味覚を育てています。食事の前には食具の使い方を練習したり、食材について説明をするなど、「食」への関心を深める働きかけをしています。スイカ割のスイカや、サツマイモの切り口を見る、そらまめのさやをむくなど、直接食材に触れる体験もしています。月齢に応じた「食と健康」「食と人間関係」「食と文化」「食と育ち」等についての目標をまとめた「食育計画」を作成し、クラスごとの目当てを決めた取り組みも行っています。			
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点 (○○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている		○非該当
評価項目 7 の講評		評価項目 7 の講評を入力してください	
①毎日の外遊びを通して、子どもたちの体力づくりによる病気やけがの予防に努めています 天気の良い日は毎日近隣の公園などに遊びに出かけることを、保育の柱の1つにしています。歩行が可能な場合はできるだけ歩くようにしたり、たくさん身体を使って遊ぶことで体力作りや柔軟な身体を養い、病気やけがの予防になるよう心がけています。散歩を通して、簡単な交通ルールを身に付けたり、室内の危険なところにはテープやクッションを付け、危ないことを知らせるなど、子どもたちが自分の安全や健康を守ることに関心が持てるようにしています。 ②「年間保健計画」を作成し、看護師と職員が連携して健康づくりに取り組んでいます 年に2回、嘱託医による健康診断を行っています。また、毎月1回身体測定を行い、保護者にも「身体測定表」を渡して発達の様子を伝えています。熱性けいれんやてんかん等、医療的ケアが必要な子どもがいる場合には、かかりつけ病院等と連携を取り、個別に対応しています。また、看護師が中心となり、月別の保育目標や子どもの姿、保健指導の内容等をまとめた「年間保健計画」を作成し、職員と話し合いながら子どもたちの健康づくりに取り組んでいます。 ③感染症予防に関する情報を入口に掲示して、保護者への注意喚起を図っています 子どもたち一人ひとりの健康記録と午睡チェック表に毎日の朝の健康状態や排便、検温、食事、退所時の健康状態などを記録し、子どもたちの健康管理を行っています。また、外から帰って来た時には手洗いや口すすぎ、水分補給を行うなど、感染症の予防に努めています。園内や近隣地域に感染症が発生した場合などは、入口に感染症予防に関する情報			

	を掲示し、予防接種を促すなど保護者への周知を図っています。毎月1回発行している園便りの中に保健便りも掲載し、健康維持について家庭への情報提供もしています。		
8	評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点 (○○○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
	評価項目8の講評		評価項目8の講評を入力してください
	①法人の理念に基づき、保護者との信頼関係を作ること大切にしています 法人理念の1つに、子どもの最善の利益の追求と保護者の子育てと仕事の両立支援を掲げています。その理念に基づき、保護者一人ひとりに丁寧に向き合い、信頼関係を作れるよう職員一同心掛けています。保護者懇談会では、1日の保育の流れに沿った子どもたちの様子をビデオで見てもらったり、担任より今の子どもの姿や保育のねらいなどについて説明し共通認識を図っています。お誕生日会の後や年末に希望があれば個別面談等も行い、個別の事情などをうかがいながら、保護者が安心して保育園を利用できるよう配慮しています。		
	②親子遠足やお別れ会等の行事を通して、保護者同士が交流できるようにしています 親子遠足やクリスマス会、お別れ会など、保護者も一緒に参加する行事などを通して、保護者が交流する機会になっています。懇談会の中でも、ビデオを通して保護者がクラスの友だちの顔や名前を知ることができたり、お互いの子どものことを話すなどの交流が図れています。行事の後には保護者アンケートなども行い、できるだけ多くの保護者が参加しやすいように日程を変更するなどの配慮もしています。保育の内容や園での取り組みを更に保護者と共有するために、今後は1日保育体験などの実施も検討しています。		
	③法人全体の取り組みとして、3園合同の保護者向け講演会を開催しています 保護者への子育てに関する学習機会の提供として、同一法人が運営している近隣の3園合同の講演会を行っています。法人が契約している講師から、子育ての悩みを解決するためのヒントが得られるような話を聞くことができるため、チラシなどを作成し、参加を促しています。今後は、園便りの内容を更に充実させて、各クラスごとの保育計画や食育等についても家庭との共有を図ると共に、地域の子育て支援やイベント等の情報提供をしていくことが望まれます。		
9	評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点 (○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
	評価項目9の講評		評価項目9の講評を入力してください
	①地域の商店街等にご協力いただき、ハロウィンの行事等を楽しみました 今年度初めて実施したハロウィンの行事では、地域の警察官や近隣の商店街の方々のご協力をいただき、子どもたちが仮装をして地域を回り、一人ひとりお菓子をもらうなどをして交流を図ることができました。子どもたちも地域の方々も、共に笑顔で楽しんでいた様子から、今後もこの行事を継続していく予定です。図書館などの公共施設を利用してなど、地域資源を活用し、子どもたちが様々な体験ができるような取り組みも行っています。同法人の運営する3園合同の親子遠足や、近隣の大きな保育園などに遊びに行くなど、他園との交流も予定しています。		
	②散歩や公園での遊びを通して、地域の方々から声をかけていただき交流しています 子どもたちが散歩に出かける際には、地域の方々がよく声をかけてくれて、子どもたちも元気に挨拶をするなどの交流が図れています。公園では、遊びに来ている地域の親子と遊具と一緒に遊んだり、園の見学に来ている方々に活動の様子を見ってもらうなど、職員以外の人と触れ合う機会にもなっています。高校生が1週間ボランティアとして来てくれたこともあり、子どもたちも楽しく遊んでいました。今後も、実習生やボランティアを積極的に受け入れていくために、まず園の存在を地域の方々に知っていただくための取り組みなども望まれます。		

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもの自主性を重んじ、自分自身で選択できる援助に努めています	
内容①	園を利用している対象児は、0～2歳児です。園では、遊具はそれぞれの種類によりコーナーに分けて置き、それを子ども自身が道具を選んで自由に遊べるようにしています。さらに、記憶力・思考力・判断力といった考える力に影響する重要な脳の領域を0歳児から鍛える育脳プログラムを取り入れています。絵本や紙芝居などを読んだり、指をさしているものに対して言葉をかけながら、子どもの発語を促しています。朝の会や外遊び、室内遊びなども自ら参加したいと思えるように援助をし、子どもの自主性を尊重した支援が展開されています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保育理念には保護者に対する支援も明記され、その実践に取り組んでいます	
内容②	園の理念では「保護者の仕事と育児の両立支援をおこないます」と掲げており、保護者への支援も考慮しています。子どもの体調が悪いとき、どうしても保護者が対応できない場合は、様子見をしながら保育園であずかることもあります。また、クラス懇談会や個人面談、登園・降園時で子どもの報告だけではなく保育園独自の連絡アプリで保護者と毎日やり取りを交わしています。さらに、毎日の保育の様子をブログに写真をアップして保護者に発信しています。こういった取り組みにより保護者の満足度も非常に高く信頼関係が構築されていることがうかがえます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	2-2-1	事業所が目指していること（理念、ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している
タイトル③	地域における園の役割を果たし続けるため、課題解決に計画的に取り組んでいます	
内容③	当園は2011年に開設し、2016年度より経営法人の変更を経て現在に至っています。開設当初から5年間築いてきた運営は変更を余儀なくされましたが、園では現在の法人と協働の中で課題形成をしてその解消に計画的に取り組んできました。法人の掲げる理念については、これまでの保育との統合を図るべく学びを重ね、ICT化によるパソコン業務の導入は、時間をかけて準備を行い、全面的な導入をすることができました。このように、当園では、地域における役割を果たし続けるため、課題解決に計画的に取り組んでいます。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園で定めている、理念を浸透させ体現化するために勉強会を開催し、職員への理解を進めた結果子どもへの対応にも良い効果が現れています
	内容	「子どもの最善の利益を追求します」「保護者の仕事と育児の両立支援をおこないます」と保育園の理念を掲げ、体現化するために7つの保育方針で方向性を示し、保育目標をたてています。職員が同じ方向を向いて一体となり保育サービスを提供するために、理念のより一層の浸透を図るべく、理念を理解するための勉強会を開催しました。一人ひとり理念を唱和しながら確認するなどといった取り組みにより、理解も深まったようです。職員からもこの取り組みにより、理念を意識しながら保育に取り組めるようになったと大きな効果を生んでいます。
2	タイトル	働きやすい職場の実現に向けて、職員が協力し合って取り組み、都や区から推奨される事業所として成果を上げています
	内容	法人の「子どもたちや保護者の幸せに寄与していくためには、まずは職員が幸せでなければならない」という方針の基に、働きやすい職場環境作りに積極的に取り組んでいます。園児管理システムの導入により、計画の作成や記録等、事務的な作業の標準化を図り、持ち帰り仕事や残業などをなくすことや、職員間で勤務の調整に協力し合い100%の有給休暇取得を目指し、取り組んでいます。その成果として、都から「働きやすい福祉の職場宣言事業所」として公表されたり、区の「ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定を受けたりしています。
3	タイトル	キャリアアップ研修計画に基づき、着実に実施をして職員に多数の学ぶ機会を設けることによりモチベーションをあげています
	内容	園では、キャリアアップ研修計画を策定し着実に研修を行っています。研修は内部・外部を問わずシフト調整などをしながら、職員が必ず研修に参加できるように職員体制の充実を図りました。研修内容も現場に即したものを学ぶことができ、例えば、看護師を招いての研修受講後には、発達障害などの疑いがある子どもへの支援がクリアになったといった大きな効果を生んでいるようです。さらに、区内にある他の2園の小規模保育所とも合同で研修を行っており、他の園の現場での取り組みなども互いに情報交換をしながらの学ぶ機会となっているようです。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	職員一人ひとりを生かす、さらなる人材育成施策への取り組みが期待されます
	内容	2016年の運営法人の変更以来、人員体制や業務の進め方、処遇改善加算の取得、ICT化への転換など、運営維持の困難さが察せられる中でも、利用者の満足度を上げてきました。これもひとえに法人や管理職のリーダーシップと職員のフォロワーシップが十分に発揮された成果であると考えられます。さらなるチーム力の向上のためにも、職員個別の課題や目標を職員参加で立案する育成計画を用いた、キャリア支援が有効と考えられます。今後、職員一人ひとりを生かす、さらなる人材育成施策への取り組みが期待されます。
2	タイトル	社会的にニーズに応えると共に、継続的な事業の安定化に向けた取り組みの検討も期待されます

	内容	本園は、0歳児6名、1歳児6名、2歳児7名の定員を設けていますが、現在2歳児に1名の空きが生じています。1年間の育児休業を取得しその後職場復帰を目指す方が多くいることから、社会的なニーズとしては、1歳児クラスの需要が大きくなっています。0歳児と1歳児の定員が同じである本園では、他園への移行等がない限り1歳児の新入園は難しくなっています。今後、区が認可保育園を増やしていくことが見込まれていますので、2歳児クラスは益々の定員割れも予測されます。事業の安定的継続を考えて、定員の見直しを検討することなども求められます。
3	タイトル	法人の経営的観点と保護者の就労を守るための保育ニーズの観点に立った事業継続計画（BCP）策定の検討が望めます
	内容	当園では、災害に対して非常災害対策計画に基づいたマニュアルの整備や実践的な想定訓練の実施と振り返り、改善活動により、子どもの安全と保護者の安心に努めています。一方、近年その懸念が高まっている自然災害への備えとしての、事業継続計画（BCP）は策定されていません。既存の災害マニュアルには被災時の対応を中心とした内容となっていることから、SAKURA保育園運営マニュアルの見直しと合わせ、事業継続計画の検討が望めます。